



授業参観と教育講演会を実施しました

7月1日に、今年度2回目となる授業参観とPTA本部主催の教育講演会を開催しました。授業参観には91名の保護者の方に参観をいただき、第1学期の学習の様子を観ていただきました。特に1年生では、教科担任制という中学校からの授業スタイルに少しずつ慣れてきた生徒の様子をご覧いただけのではないかと思います。



授業参観の様子

また、授業参観後に行われた教育講演会では、市役所職員の平出将孝さんに講師として来校いただき、JICA 海外協力隊員としての活動体験について講話をいただきました。平出さんは2017年～2019年までの2年間、東ティモールに JICA 海外協力隊員として派遣され、特技である竹細工等の手工芸について、現地で指導にあたられていました。隊員になりたいと思ったきっかけは、東日本大震災で国内外を問わず多種多様な様々な方々に支援をいただいた恩返しをしたいと思ったからです。東ティモールは発展途上にある国で、大勢の家族で暮らし、時間がゆっくり流れる国だったようです。子どもが多く、学校は午前と午後に分かれて登校するのが普通で、子どもたちは勉強するのを楽しみにしているそうです。1時間ではありましたが、恵まれた今の日本の現状を知る有意義な時間となりました。



講演する平出将孝さん

学校運営協議会が開催されました

7月4日(火) 喜久田中学校において、令和5年度喜久田小・中学校の学校運営協議会が開催されました。この協議会は、義務教育9年間を通して、学校と地域が連携・協働し、子どもたちのよりよい成長を支えていく地域ぐるみの教育を進めることにより、地域に根ざした次世代を担う人材育成を目的に行われるものです。教育委員会より委嘱を受けた11名の委員の皆様から、



ご意見やご指摘をいただきながら更なる学校運営の改善・充実に努めていきたいと思っております。

小・中学校連携推進会議を開催しました

9年間の義務教育を充実・発展させるために、7月4日(火)に喜久田小学校と喜久田中学校の教員が一堂に会し、連携推進会議を開催しました。会議では、目指すべき方向性の確認や、日頃の取り組みで困っていることなどについて、情報交換を行いました。小学校、中学校ともにそれぞれに特性や苦勞がありますが、互いにその苦勞を尊重しながら連携を密にし、将来の喜久田地区を担う児童生徒の育成に取り組んで参りたいと思っております。皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

